

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

法政大学文学部日本文学科卒業論文題目

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要

(巻 / Volume)

8

(開始ページ / Start Page)

62

(終了ページ / End Page)

63

(発行年 / Year)

1963-01-25

法政大学日本文学科卒業論文題目

昭和三十六年度

源氏物語―六条院の世界―	金子 完治	蜻蛉日記の一考察	岩田 利明	古今調の考察	大庭 慶徳
宇治十帖と宿世の論理	作田 昭雄	世阿弥の芸術論	新名 宏斗	二条院讃岐	中島三代子
源氏物語第二部悲劇の追求	時田 浩介	世阿弥の芸術論	小坂 鉄三	謡曲「飛鳥川」について	代永 知子
源氏物語の女性像の考察	成田 雄三	方丈記の無常感	大橋 正夫	浦島太郎考	小林はるみ
宇治十帖における大君について	春日 洋子	日本の無意識の構造私論	森 真一	古今集と新古今集の秋歌の比較	三宅 義信
紫式部日記論考	中川 忠理	―無常感をめぐって―	打矢 東一	古今集と新古今集の素材の研究	土岐 一郎
源氏物語試論	川野 正子	民衆の文学としての平家物語	齋藤 貞彦	古今和歌集における六歌仙	高橋 弘
紫式部の内部意識の働き	大宮みどり	平家物語に於ける悲劇性	谷内 建治	土童物の変遷について	網倉 武重
蜻蛉日記試論	仲山 純子	平家物語に於ける人物形象	中村 修三	雨月物語の研究	八代 勇
源氏物語「若菜」巻の世界	黒島 富子	平家物語に於ける平清盛像	畠山 吾呂	秋成と「菊花の約」について	大井手善郎
紫式部日記論	渡辺 允之	平家物語のカオス論	藤元 徳造	「雨月物語」と「春雨物語」の関係	鬼海 高允
源氏物語「宇治」の創作方法	真田 一司	平家物語の鹿ヶ谷事件序説	向笠鬮至夫	古川柳の型的表現の意味	原田 国男
源氏物語第二部に対する考察	岸井 富恵	平家物語―清盛と重盛―	市原 逸子	近松門左衛門	長谷川光臣
「紫式部日記」からみた紫式部論	小林 徳子	平家物語の女性	大津留六寿	近松作品に描かれた女性	尾崎 則子
川端茅舎論―茅舎浄土の空間	中島 勇	平家物語に於ける運命観	田崎 道子	近松世話浄瑠璃の基礎的研究	鈴木 義行
紫上と大君の世界	中村 和以	平家物語に於ける義仲像	藤田 和徳	近松世話浄瑠璃の基礎的研究	森田 実
万葉集伝説歌の叙事的興味	吉武 昭男	清盛像及び重盛像	渡辺 虎雄	俳句切字論	鈴木 義行
に関する研究		人物論―木曾義仲について		中世詩としての連歌	百済 覚円
				近松の中の女達	佐藤 克士
				「芭蕉論」のための序論	植竹 常子
				「東海道四谷怪談」論	大田佐紀子
				西鶴の現代的意義	坂越 広子
				歌舞伎美論	谷畑 祥
				南北論	平賀 讓
				良寛の和歌における	山本 真方

万葉集の影響とその特徴	木下 孝治	国木田独歩研究	小沢栄次郎	井伏鱒二論	梅沢 克己
文学における笑い		田山花袋研究	竹田昌二郎	牧野信一	山内 恭子
漱石・竜之介を中心に―	宮永 軌雄	岩野泡鳴	西村 智夫	久保栄「火山灰地」論	鈴木 勇
正岡子規論		徳田秋声論	原田 宗則	戦時下に於ける宮本百合子の作品	河原 勝英
―そのナシヨナリズム―	浅原 勝	「徴」の一考察	杉野 悦子	昭和十年代に於ける伊藤整、	
永井荷風論(帰朝前後)	杉田 晋二	情痴と愛欲の作家―近松秋江論―	原 仁志	太宰治、石川淳のユーモア	矢部 順一
正宗白鳥について	前羽 績	二葉亭に於ける人間の研究	藤田 士郎	太宰治に於ける罪の意識の研究	湯川 文隆
石川啄木―作品作家の考察	戸田 峯雄	―後半生を中心として―	今井 満	太宰治論	工藤 昌治
啄木における社会主義思想	大和 実	森鷗外の歴史小説	福島 幸平	太宰治に於ける意識の二重構造	秋葉 幸男
長塚節「土」	藤田 芳雄	正宗白鳥に於ける現実蔑視	宮城 栄俊	「人間失格」に於ける女性の問題	外崎 博
長塚節の作品「土」	和田 守	と現実尊重の矛盾	織江 克匡	生えぬきの美ということ	吉岡 和昭
暗夜行路	向田 幹夫	樋口一葉の作品と時代環境	竹島 列	詩人とその風景	田村 富穂
広津和郎について	橋爪 隆昌	有島武郎論	長山 茂寿	―三好、丸山、津村、立原―	村上 彩子
豊島与志雄研究	熊谷万里行	有島武郎論	長谷見泰子	宮沢賢治の童話と人生観	小松 敏夫
第一次「近代思想」と荒畑寒村	森田まこと	芥川竜之介論	沼田 康弘	児童文学に於ける宮沢賢治	水藻 満
島木健作と「生活の探求」	佐藤 省三	芥川竜之介の精神異常	細谷 勝久	賢治童話の社会性と郷土的性格	桑原 敬二
農民文学に現われた女性像	星 ユキユ	有島武郎「カインの末裔」	岩佐 浩	小川未明とアンデルセンの比較	鈴木宇良子
黒島伝治について	松本 仁	芥川竜之介小説	小石 雅夫	未明の童話に於ける愛着	磯崎 真一
破戒論	高野 宏康	―晩年の作品を中心として―	井出 喜伸	小川未明論	堀江 泰紹
田山花袋	岡野 靖夫	啄木の小説	神 武芸	「かあちゃん、しぐのいやだ」	岩村 勇彦
国木田独歩	桶川 隆弘	石川啄木研究―その詩について	上野 勝太	「かあちゃん、しぐのいやだ」	堀江 泰紹
国木田独歩論	谷沢 光夫	山本有三論	井出 喜伸	「かあちゃん、しぐのいやだ」	花田 幸雄
国木田独歩について	樋口 修	横光利一論	神 武芸	琉球民話の分類と収集	喜友名朝夫
初期独歩における個人感	吉村 純彦	谷崎潤一郎論	上野 勝太	現代に於ける独歩とキリスト教	中沢由紀夫
国木田独歩	広田 英	小林多喜二に学ぶもの			